平成16年度 第3四半期業績 説明資料



電源開発株式会社

平成17年2月9日

将来見通しに関する注意事項



本書には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本書に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、 公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何 らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

目次



•	. 平成16年度 第3四半期業績の	既要
	連結:第3四半期業績のポイント	4
	連結:販売の状況	5
	連結:四半期別の業績推移	6
	連結:通期業績見通し	7
	連結∶セグメント別概要	8
	連結:収支比較表	9
	連結:バランスシート	10
	連結:キャッシュフロー	11
•	. A P P E N D I X	
	卸電気事業:月別販売電力量	13
	卸電気事業:月別販売電力量の前年同月	比較······14
	その他の電気事業:月別販売電力量	



. 平成16年度第3四半期業績の概要

連結:第3四半期業績のポイント



- ▶ 16年度第3四半期(4-12月)業績について:
 - 火力の高稼働継続、水力の出水増、発電子会社の新規連結により、連結の販売電力量は前年同期比 +3.2%、売上高は+3.2%となった。
 - 火力料金の改定等により営業利益は減益となったが、支払利息の減により、経常・当期 純利益は増益となった。

第3四半期業績

				(単位:億円)
	15年度	16年度	前年同期比	
	第3四半期 (4-12月)	第3四半期 (4-12月)		増減率 (%)
売上高	4,217	4,352	136	3.2%
営業利益	1,108	1,007	101	9.2%
経常利益	559	608	49	8.7%
当期純利益	350	379	28	8.1%

連結:販売の状況



- ・水力(当社):10-12月期の高出水(出水率158%)により、販売電力量は前年同期比 +3.1%
- ▶ 火力(当社):10 12月期も高稼働を継続し、販売電力量は前年同期比 +2.7%
- ▶ その他の電気事業(子会社):発電子会社の増加により、販売電力量は前年同期比 +51.5%

平成16年度販売実績

(単位:億kWh、億円)

	15年度第	3四半期	16年度第3四半期		前年同期比増減		(
	販売 電力量	売上高	販売 電力量	売上高	販売 電力量	売上高	参考諸元	
卸電気事業	442	3,419	455	3,584	12	165		
	90	1,040	93	1,054	3	15	出水率(1):111% 123%	
	353	2,379	362	2,530	10	151	利用率(2):73% 75%	
その他の電気事業	4	32	5	55	2	22	発電子会社数:1社 5社	
合計	446	3,451	460	3,639	14	188		

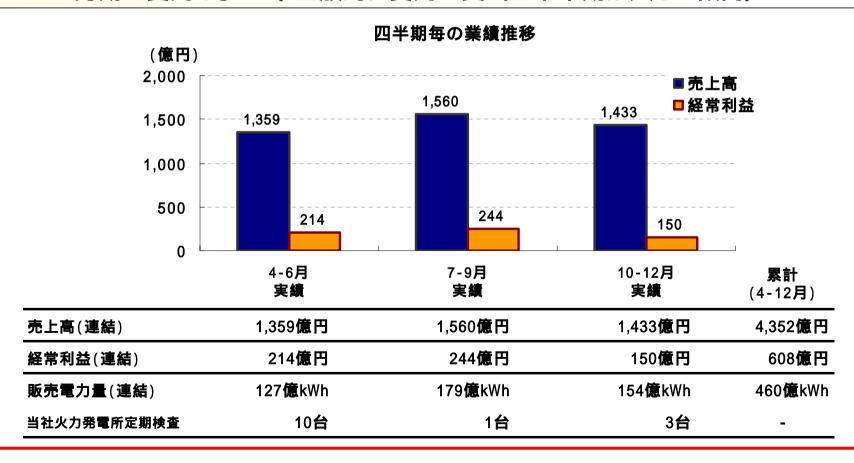
- 1 出水率 = 実績出水量 ÷ 過去30年間の平均出水量。出水率100%の場合、当該期間の出水量が過去の平均的な出水量であったことを示す。
- 2 利用率 = 実績発電電力量 ÷ (設備の最大出力×期間日数×24時間)

連結:四半期別の業績推移



▶ 四半期別業績の特徴

- ▶ 夏期の需要期(7-9月)は、火力の稼働率が高く、水力も梅雨や台風による出水があるため、売上高は大きい。
- ▶ 定期点検等の大規模修繕は夏期の需要期、出水期を避けて実施するため、7-9 月期は費用も小さい。全般的に費用の支出は下半期が大きい傾向。



連結:通期業績見通し



中間決算発表時(11月11日)の通期予想は変更せず。

経常利益は通期で550億円と予想(第3四半期実績は608億円)

例年、委託費や研究費の支出は1-3月期に多いことに加え、今年度は夏期の火力発電所高稼働や台風による降雨・出水対応等により、下半期の修繕工事等が特に多いこと、13月期に社債のデットアサンプション等を見込んでいることから、13月期の経常・当期純利益はマイナスとなる見通し。

16年度 通期業績予想

	15年度	16年度	
	通期実績	第3四半期 (4-12月)	通期予想 (変更せず)
売上高	5,699	4,352	5,780
<u>営業利益</u>	1,321	1,007	1,060
経常利益	444	608	550
当期純利益	276	379	350

連結:セグメント別概要



セグメント別業績の特徴

電気事業

売上の大半は、当社の水力発電、 火力発電、送変電事業(卸電気事 業)。

今年度より、風力発電子会社、PP S向け発電子会社を連結。

ト その他の事業

電力設備の設計、施工、点検保守や、石炭の輸入・輸送など発電所や送変電設備の運営に必要な周辺事業が中心。

当社発電所の保守、石炭輸送等、グループ内部取引が多い。

今年度から子会社への大幅な業 務移管を行ったため、売上高が増加。

その他の事業

消去又は全社

合計

連結

売上高			(単位:億円)_			
	15年度	16年度					
	第3四半期 (4-12月)	中間期 (4-9月)	10-12月	第3四半期 (4-12月)			
電気事業	3,945	2,775	1,346	4,121			
その他の事業	1,307	1,012	545	1,557			
合計	5,253	3,787	1,892	5,679			
消去又は全社	1,036	868	458	1,326			
連結	4,217	2,919	1,433	4,352			
営業利益			(<u>単位:億円)</u>			
	15年 度	16年度					
	第3四半期 <u>(4-12月)</u>	中間期 <u>(4-9月)</u>	10-12月	第3四半期 (4-12月)			
電気事業	1,028	659	261	920			

36

695

10

705

79

1.107

1,108

72

992

14

1,007

36

297

301

連結: 収支比較表



(<u>単位</u>:億円)

		15年度
		第3四半期
		(4-12月)
経	売上高	4,217
無常	電気事業	3,942
収	水力	1,040
松益	火力	2,379
ш	IPP、PPS向、風力	32
	託送(送変電)	475
	その他	15
	その他事業	275
	営業外収益	29
	持分法投資利益	9
	その他	20
	計	4,246
₽ ₽	営業費用	3,109
経常	電気事業	2,794
市費	人件費	318
月用	燃料費	630
т	修繕費	199
	減価償却費	958
	その他	689
	その他事業	315
	営業外費用	578
	支払利息	556
	持分法投資損失	-
	その他	21
	計	3,687
	経常利益	559

				(単位:1億円)
16年度			前年同期比	主な増減要因
中間期		第3四半期	144.5	
(4-9月)	10-12月	(4-12月)	増減	
2.010	1 122	4.252	126	
2,919	1,433	4,352	136	
2,768	1,343	4,111	169	
728	327	1,054	15	奥只見・大鳥増設の平年化
1,697	833	2,530	151	燃料価格増及び販売電力量増、料金改定
27	28	55	22	風力発電子会社、PPS向け発電子会社を新規連結
306	153	459	17	一部契約料金改定
10	3	13	2	
151	91	241	33	子会社外部受注の減、石炭販売事業収益
21	2	23	6	
1	1	_	9	
20	3	23	3	受取配当金增
2,940	1,436	4,375	130	
2,214	1,132	3,346	237	
2,029	1,035	3,064	270	
186	81	267	51	人員減
544	299	843	213	燃料価格増及び販売電力量増
191	95	286	87	火力定期点検増
602	304	907	52	償却進行による減
506	256	762	73	委託費増、除却費増
184	97	282	33	子会社売上原価減、石炭販売事業費用
268	153	422	156	
243	131	374	182	繰上償還等前払金利の減、利率低下及び借入残高減
-	13	13	13	海外IPP開発地点変更に伴う過去開発費償却
26	9	34	13	減損会計の早期適用
2,482	1,285	3,767	81	
457	150	608	49	

連結:バランスシート



- う有利子負債の削減により、財務体質は着実に改善。
- 株主資本比率は19.1%に。(目標は平成18年度末で20%)

							(単位:億円)
		15年度	16年度			前期末比	主な増減要因
		期末	中間期末	10-12月 増減	第3四半期 末	増減	
	固定資産	<u> 19,451</u>	19,124	220	18,904	547	
資	電気事業固定資産	16,234	15,862	222	15,640	593	償却進行による減
産	その他の固定資産	290	277	2	275	14	
	固定資産仮勘定	1,608	1,660	7	1,653	45	風力発電設備增
	投資その他	1,320_	1,324	11	1,335	15	
	流動資産	1,310	1,368	285	1,653	343	現預金、貯蔵品(石炭)増
	合計	20,761	20,492	65	20,557	204	
	<u>有利子負債</u> その他	<u>15,929</u> 1,230	15,413 1,236	116 90	15,296 1,326	633 96	債務返済による減
	合計	17,159	16,649	27	16,622	537	
	少数株主持分	5	12	0	12	7	
	株主資本	3,596	3,832	92	3,923	327	利益剰余金増
	(Eレシオ(倍)	4.4	4.0		3.9		
<u>株</u>	主資本比率(%)	<u> 17.3%</u>	<u> 18.7%</u>		19.1%		

連結:キャッシュフロー



- ▶ 大きな設備投資は行っていないことから、営業活動から投資活動を差し引いたフリーキャッシュフローはプラスの傾向。
- 今後の事業環境変化、設備投資増加 に備え、フリーキャッシュフローは主として有利子負債の削減に充当し、財務体質を強化。

磯子石炭火力発電所新2号機 60万kW:18年2月着工予定、大間原子力発電所 138万kW:18年8月着工予定

						(単位:億円)
	15年度	16年度			前年同期比	主な増減要因
	第3四半期 (4-12月)	中間期 (4-9月)	10-12月	第3四半期 (4-12月)	増減	
_ 営業活動 (A)	1,439	791	485	1,276		減価償却費の減少 たな卸資産の増加_
投資活動(B)	394	196	117	312	82	投融資支出の減少
財務活動	628	685	117	801		15年12月に1,637 億円の増資実施
現金及び現金同等物 の増減	413	67	253	186	227	
フリーキャッシュフロー (A-B)	1,044	596	368	964	81	



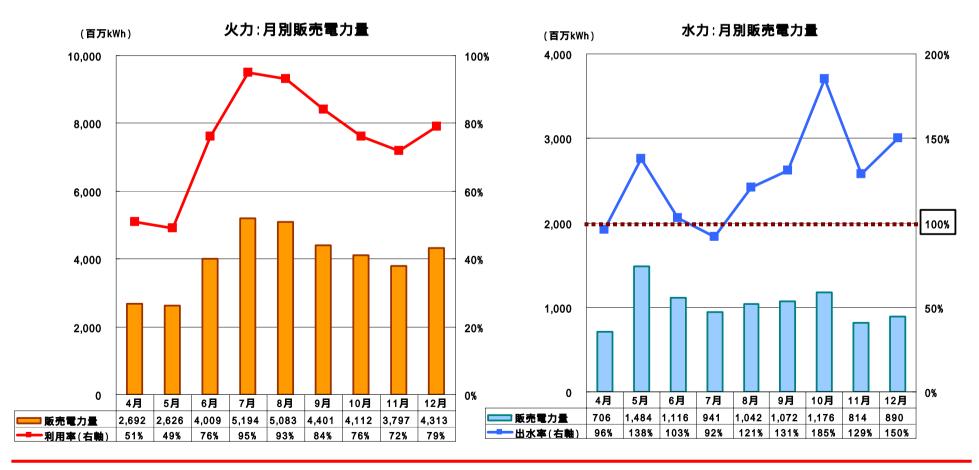
. APPENDIX

卸電気事業:月別販売電力量



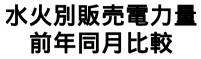
火力:第3四半期実績(4 12月累計)利用率 75%販売電力量 362億kWh

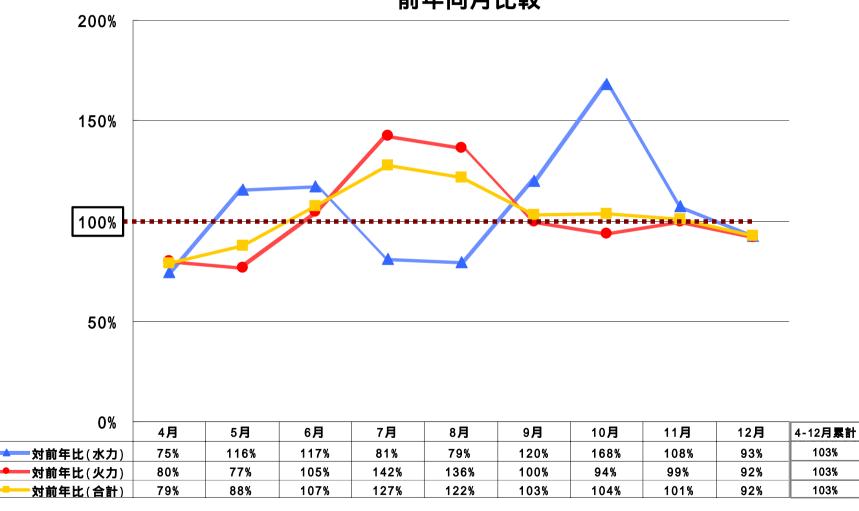
水力:第3四半期実績(4 12月累計)出水率 123%販売電力量 93億kWh



卸電気事業:月別販売電力量の前年同月比較







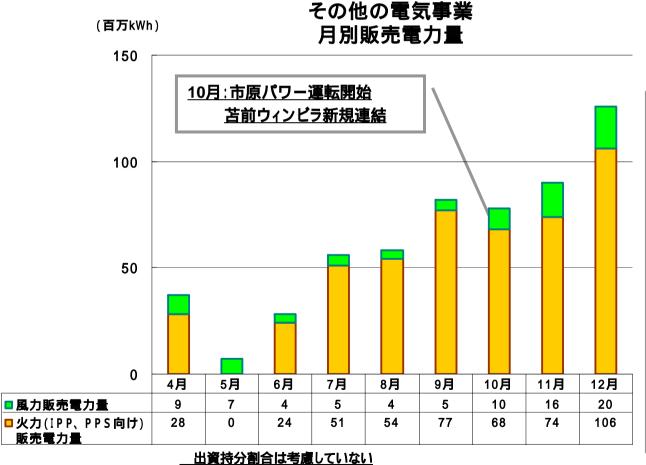
その他の電気事業:月別販売電力量



▶ その他の電気事業(IPP、PPS向け、風力):第3四半期実績(4 12月累計)

連結発電子会社数 5社

合計販売電力量 5億kWh



営業運転中の発電子会社(連結対象) 火力: (IPP) 糸魚川発電 13.4万kW (80%) (PPS向け) 市原パワー 11.0万kW (60%) 風力: 苫前ウィンピラ 3.1万kW (100%) ケリーンパワーくずまき 2.1万kW (100%) 仁賀保高原 2.5万kW (67%)

括弧内は出資持分比率



電源開発株式会社

http://www.jpower.co.jp/